

臨床研究内容 ホームページ公開用

1. 研究課題名称

地域におけるポリファーマシー対策—薬薬連携による戦略構築—

2. 研究の背景・目的

現在、八幡地区においては高齢者の多重受診も多く、かかりつけ医の存在も明確ではありません。このような状況下でポリファーマシー対策を主体的に行う、医師、薬剤師の役割も不明瞭なままです。

国の施策としても減薬に向けた取り組みが推奨されており、保険薬局の積極的な関わりが求められています。現状では進んでいません。これら障壁となる要因を抽出し、対応することにより地域においてポリファーマシー対策が進むことが第一であり、本研究により急性期病院の薬剤師と保険薬局のかかりつけ薬剤師が連携を図ることでポリファーマシー対策を行うモデルが構築され、薬剤の適正使用が推進するものと考えています。

3. 対象者および対象期間

2018年9月に製鉄記念八幡病院を受診し、春の町調剤薬局にて処方薬剤を受け取っている患者を対象とします。

4. 研究内容

本研究では患者様が現在服用されているお薬に関して処方医、処方内容、服薬状況の調査を行い、処方された薬剤の中で不適切な薬剤の使用、減薬・中止可能な薬剤の有無などポリファーマシーに対する介入が必要な例を抽出します。これらの取り組みを通じて外来患者におけるポリファーマシーの実態と薬薬連携による介入の成否を明らかにしていきます。

5. 個人情報の管理について

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

6. 研究協力の任意性と撤回の自由について

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情

報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報を利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく担当薬剤師にご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。データの集計の際は患者名をコード化し、個人を特定できないように配慮します。

7. 問い合わせ先（当施設研究責任者）

上記研究対象期間において該当になる方で研究に対して不都合がある場合や研究に対してご不明な点がございましたら下記の連絡先まで連絡をください。

製鉄記念八幡病院薬剤部 後藤 渉
〒805-8508 北九州市八幡東区春の町 1-1-1
TEL:093-671-9604